

生活場面で使われているグラフを読み取り、批判的に考察する力や意志決定する力を養う統計教育指導

瀬戸市立水野中学校 小山 祐生

1 はじめに

事前アンケートでは、「統計を学んで役に立つ」と答えた生徒は8割を超えていたにもかかわらず、「グラフや資料を読み取ることはおもしろい」と答えた生徒は4割に満たなかった。

そこで、授業中に社会で使われている統計に触れさせて統計のおもしろさを感じさせ、主体的に活動し、統計を活用できる生徒を育てるため、本実践を進めた。

2 研究実践

(1) 研究テーマの設定

社会で使われているグラフを読み取る活動を通して、生徒が統計に興味をもち、批判的に考察する力や意志決定する力を養うことを目標とした。

(2) 研究の仮説

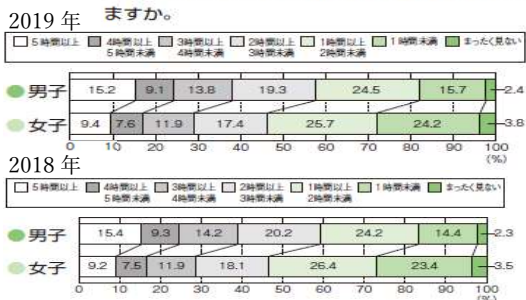
社会で使われているグラフを読み取る活動を充実させることによって、生徒が統計調査の仕組みや有用性を理解したり、統計を批判的に考察し、活用したりすることができるようになるだろう。

(3) 研究の方法

①2019年の小学校5年生の体力テストの結果(全数調査)はなぜ過去最低になったのか、どうしたら上がるのか、2019年と2018年のアンケート(質問紙調査)結果を比べて考えさせる。どうしたら、結果が上がるか考えさせる。

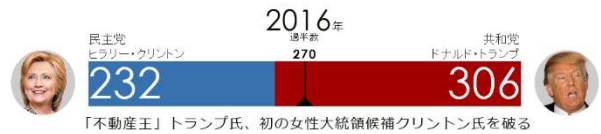
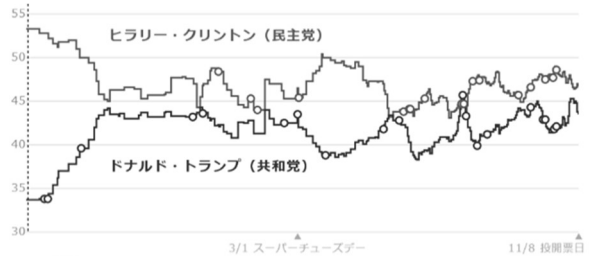
(例)

質問 10 平日(月～金曜日)について聞きます。1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



出典 スポーツ庁 平成29年度・平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査結果

②2016年アメリカ大統領の結果はどうして予想(標本調査)と違ったのか考えさせる。世論調査をどのように受け止めるか考えさせる。



出典 <https://www.asahi.com/international/us-election/2016/>

(4) 研究の実際と考察

①生徒は、アンケート結果からスマホを見る時間が多くなり寝る時間が少なくなるなど、体力が落ちる原因を分析した。それを踏まえてスマホの時間を制限する、無料のスポーツ施設を増やすなどの改善策を考えることができた。

②世論調査と実際の選挙結果が違ったことを考え、調査に正直に答えないことによる影響や世論調査の情報に流されず自分の意思をしっかりとつことの大切さを生徒は学んだ。

単元前と後のアンケートを比べると、「グラフや資料を読み取ることはおもしろいですか」の質問に「とてもそう思う」、「少しそう思う」と答えた生徒は、38%から74%に増えた。

3 今後の課題

本実践を通して、社会で使われているグラフを読み取る活動を通して、生徒が統計に関心を高め、批判的に考察する力や意志決定する力を養うことができた。今後は、生徒自身が課題を見つけ、データを集め、分析し、活用する活動を行っていききたい。